

運動器外傷診療の質の向上を目指して

# 多職種連携が 大腿骨近位部骨折後の 二次性骨折を予防する

(公財) 運動器の健康・日本協会オンライン・シンポジウム 2022

2022年10月30日(日曜日) 13時～17時30分 zoom ウェビナー 無料

● 申し込みフォーム

<https://forms.gle/Ndsq2h2Qgh8jUhU46>



本年4月より、大腿骨近位部骨折に対する早期手術と二次性骨折予防のための評価・治療が、診療報酬上認められることになりました。そのためには多職種連携が不可欠ですが、実際にどのように行えばよいのか悩まれている関係者も多いと思います。本シンポジウムでは、この問題に対して以前から現場で

熱心に取り組んできた医師、看護師、薬剤師、理学療法士などの専門家が、骨折の現状や早期手術・二次性骨折予防のための多職種連携の実際やコツなどについてわかりやすくお伝えします。また、やや特殊な対応を必要とする重症な合併症を有する患者さんへの対応についてもお話しします。



座長・宮腰尚久  
秋田大学大学院  
整形外科科学講座教授



座長・萩野浩  
鳥取大学医学部  
保健学科教授



座長・三上容司  
横浜労災病院  
病院長



公益財団法人 運動器の健康・日本協会

TEL : 03-3816-3755 MAIL : office@bjd-jp.org

# PROGRAM

## 第1部 大腿骨近位部骨折の現状と早期手術を行うために 座長・宮腰 尚久

13:00	5分	開会挨拶	三上 容司 業務執行理事 / 運動器外傷の救急医療に関する委員会担当理事 / 横浜労災病院 病院長
13:05	5分	座長挨拶	宮腰 尚久 脆弱性骨折予防委員会委員 / 秋田大学大学院整形外科学講座 教授
13:10	30分	講義① 大腿骨近位部骨折診療の現状	萩野 浩 脆弱性骨折予防委員会担当理事 / 鳥取大学医学部保健学科 教授
13:40	30分	講義② 自験例からみた大腿骨近位部骨折早期手術に必要な要因、それを妨げる要因	山崎 薫 脆弱性骨折予防委員会委員 / 磐田市立総合病院副院長 整形外科医

5分休憩

## 第2部 ストップ、骨折ドミノ！ にむけて 座長・萩野 浩

14:15	5分	座長挨拶	萩野 浩
14:20	30分	講義③ 大腿骨近位部骨折における骨折リエゾンサービスの実際	井升 江美子 広島骨粗鬆症マネージャーミーティング代表世話人 / マツダ株式会社マツダ病院看護部 脳神経外科外来主任看護師
14:50	30分	講義④ 大腿骨近位部骨折二次性骨折予防の継続のための地域連携	山本 智章 脆弱性骨折予防委員会委員長 / 新潟リハビリテーション病院 病院長
15:20	30分	講義⑤ 地域で連携する骨粗鬆症診療	沖本 信和 脆弱性骨折予防委員会委員 / 沖本クリニック院長

5分休憩

## 第3部 重症患者への対応 座長・三上 容司

15:55	5分	座長挨拶	三上 容司
16:00	30分	講義⑥ 重症併存疾患を有する大腿骨近位部骨折患者への対応	井口 浩一 運動器外傷の救急医療に関する委員会委員長 / 埼玉県医科大学総合医療センター・高度救命救急センター教授 外傷センター長

5分休憩

## 第4部 質疑応答 座長・宮腰尚久 萩野浩 三上 容司

16:35	30分	質疑応答	宮腰 尚久, 萩野 浩, 三上 容司
17:05	10分	指定発言 薬剤師の視点から	長谷 奈那子 磐田市立総合病院 薬剤師
17:15	10分	指定発言 理学療法士の視点から	田中 暢一 ベルランド総合病院理学療法室 理学療法士
17:25	5分	閉会の挨拶	萩野 浩

※お問合せは、運動器の健康・日本協会のメール ([office@bjd-jp.org](mailto:office@bjd-jp.org)) にお送りください

公益財団法人 運動器の健康・日本協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目2-21-3 青木ビル5F

## 【理事長・座長・講師の紹介】



### 公益財団法人運動器の健康・日本協会 理事長

**丸毛 啓史 (まるもけいし)** 学校法人慈恵大学 理事、東京慈恵会医科大学 特命教授

<略歴> 1981年、東京慈恵会医科大学卒業。1984年、米国コネチカット州立大学、1986年、米国、デラウェア州州立大学へそれぞれ留学。2006年、東京慈恵会医科大学整形外科学講座担当教授。2013年、同大学附属病院長。2019年から公益財団法人運動器の健康・日本協会の第6代理事長。

### 第1部座長

**宮腰 尚久 (みやこしなおひさ)** 秋田大学大学院整形外科学講座教授、脆弱性骨折予防委員会委員

<専門分野> 脊椎脊髄外科、骨代謝、骨粗鬆症、とくに骨粗鬆症を合併する高齢者の脊柱後弯変形（腰曲がり）の病態解明と、予防から手術までの包括的な対策の研究。



### 第2部座長/講義①講師

**萩野 浩 (はぎのひろし)** 鳥取大学医学部保健学科教授、脆弱性骨折予防委員会担当理事

<専門分野> 整形外科、骨代謝、運動器リハビリテーション

<講義内容> 「**大腿骨近位部骨折診療の現状**」

わが国では年間約22万例の大腿骨近位部骨折が発生し、その95%で手術治療が実施されている。入院後手術までに要する時間は平均4.0日と長く、その最大の理由は骨折治療に手術室が使用できないことである。



### 第3部座長

**三上 容司 (みかみようじ)** 横浜労災病院 病院長 運動器センター長、公益財団法人運動器の健康・日本協会業務執行理事、運動器外傷の救急医療に関する委員会担当理事

<専門分野> 整形外科、手外科、末梢神経外科、機能再建外科、とくに腕神経叢損傷をはじめとする末梢神経損傷の診断と治療。



### 講義②講師

**山崎 薫 (やまざきかおる)** 磐田市立総合病院 副院長、整形外科医、脆弱性骨折予防委員会委員

<専門分野> 代謝性骨疾患、現在は自院の地域医療支援センターに身をおき多職種連携による地域連携の構築に努めている。

<講義内容> 「**自験例から見た大腿骨近位部骨折早期手術に必要な要因、それを妨げる要因**」

2021年に当院で治療した大腿骨近位部骨折は302例で手術を行った症例は273例である。うち受傷後48時間以内に手術が行われていた症例は158件であった。これらの診療記録から早期手術に必要な要因、早期手術を妨げる要因を振り返って概説する。





### 講義 ③ 講師

**井升 江美子 (いませみこ)** 広島骨粗鬆症マネージャーミーティング代表世話人, マツダ株式会社マツダ病院看護部 脳神経外科外来主任看護師

＜専門分野＞骨粗鬆症, 二次性骨折予防に加え, 特に 50 歳台の骨粗鬆症健診受検者や脳血管疾患患者への一次性的骨折予防に注力している。

＜講義内容＞ **「大腿骨近位部骨折における骨折リエゾンサービスの実際」**

当院では, 2012 年より「大腿骨頸部骨折地域連携パス」の運用を開始し, 急性期入院中の DXA 検査, 骨粗鬆症薬治療開始, 医科歯科連携, CT による椎体骨折の評価等を行ってきた多職種で行う二次性骨折予防における取り組みや成果を報告する。



### 講義 ④ 講師

**山本 智章 (やまものりあき)** 新潟リハビリテーション病院院長, 脆弱性骨折予防委員会委員長

＜専門分野＞整形外科, 骨粗鬆症

＜講義内容＞ **「大腿骨近位部骨折二次性骨折予防の継続のための地域連携」**

令和 4 年の診療報酬改定で新設された大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理料は本疾患に対する医療政策の新たな取り組みであり, 今後脆弱性骨折患者に対する多職種連携、地域連携が普及する。



### 講義 ⑤ 講師

**沖本 信和 (おきもとのぶかず)** 沖本クリニック院長, 脆弱性骨折予防委員会委員。

＜専門分野＞骨粗鬆症, リウマチ学, スポーツ医学 . TOKYO2020 ハンドボール男子日本チームドクター。

＜講義内容＞ **「地域で連携する骨粗鬆症診療」**

医師会, 歯科医師会, 薬剤師会, 呉市行政で構成される広島県呉市骨粗鬆症地域包括医療体制検討小委員会で行って来た呉市・骨粗鬆症重症化予防プロジェクトの具体的活動, とりわけ大腿骨近位部骨折二次性骨折予防継続の取り組みやその成果について報告する。



### 講義 ⑥ 講師

**井口 浩一 (いのくちこういち)** 埼玉医科大学総合医療センター, 高度救命救急センター教授, 外傷センター長, 運動器外傷の救急医療に関する委員会委員長。

＜専門分野整＞整形外科外傷、脊椎外傷、骨盤外傷, 整形外科と救急科のダブルボード

＜講義内容＞ **「重症併存疾患を有する大腿骨近位部骨折患者への対応」**

重症大動脈弁狭窄症を有する大腿骨近位部骨折に対する骨接合術における周術期管理は, 輸液の調節が極めて重要であるため, 手術はハイリスク・ハイリターンである。ガイドラインを紹介し, ICU 管理の必要性を説明する。

動く喜び 動ける幸せ